

阿南市 西光寺(阿南市)  
那賀川町商工会(阿南市)



阿南市那賀川町は、紀伊水道に面した徳島県東南部に位置し、一級河川那賀川の河口部に開けた豊かな自然と人情、そして歴史に彩られた町で、平成18年には、羽ノ浦町とともに阿南市に編入合併されました。

平島地域は、中世には「平島郷」と言われ、足利將軍家と関係の深い天龍寺(京都)の莊園で、海上交通の利便性や温暖な気候による快適な地域のため、初代阿波公方足利義維(義冬)は、天文3年(1534年)にこの地に移り住

みました。義冬は阿波公方と名乗りましたが、その後代々の当主は平島公方と呼ばれました。

室町幕府の第14代將軍・足利義榮は、この地より上洛。文化2年(1805年)に第9代公方・義根が阿波国を退去するまでの約270年間の長きにわたって居を構えました。特に好学の第8代公方・義宣は、京都から儒学者・島津軍山を招き、漢詩集「棲龍閣詩集」を編むなど文化・學術面でも大きな足跡を残しました。

公方が住まわれた公方館跡地には、現在、阿波公方・民俗資料館が建ち、足利氏ゆかりの品々を展示しています。

また、那賀川町商工会では、その足跡を追善・顕彰するため、公方ブランドを統一し、イメージアップに努めております。西光寺には第14代將軍をはじめ、代々の阿波公方及び親族の墓所があり、当時の面影を偲ばせています。



—— マムシ除け札

足利氏・阿波公方系図



8 ~ 15 將軍の代數  
① ~ ⑨ 阿波公方  
⑩ ~ ⑭ 阿波国退去後



公方くん



阿波公方・民俗資料館



阿波公方墓所